

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L4: Entry 1 of 2

File: JPAB

Dec 18, 1998

PUB-NO: JP410334135A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10334135 A

TITLE: CONSTRUCTION COST ESTIMATION METHOD

PUBN-DATE: December 18, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

ETO, KENGO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SEKISUI HOUSE LTD

APPL-NO: JP09147434

APPL-DATE: June 5, 1997

INT-CL (IPC): G06 F 17/50; E04 B 1/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily estimate the construction cost of a building in a short time by inputting the kind and size of the rooms of the building to be constructed by using the screen of a computer and calculating a rough construction cost by a calculation procedure stored beforehand based on the input data.

SOLUTION: By selecting room input on an initial screen, a room input screen G2 is displayed and the kind and size of the rooms for respective floors are inputted. On the room input screen G2, when a desired room is selected for the respective floors by specifying room selection marks 4 for the respective rooms displayed on a left side with a cursor and performing a mouse operation, the name of the selected room is successively displayed from the top in an area on the right side of the room input screen G2. In this case, by matching the cursor to a feed mark 5 in the size column of the respective rooms and operating a mouse or the like, the size of the respective rooms is selected. Then, when an area calculation mark 6 is specified with the cursor and the mouse is operated, a floor area for the respective floors is calculated and a calculated result is displayed.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)**BEST AVAILABLE COPY**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-334135

(43) 公開日 平成10年(1998)12月18日

(51) IntCl⁵

識別記号

F I

G 0 6 F 17/50

G 0 6 F 15/60

6 0 8 G

E 0 4 B 1/00

E 0 4 B 1/00

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平9-147434
(22) 出願日 平成9年(1997)6月5日

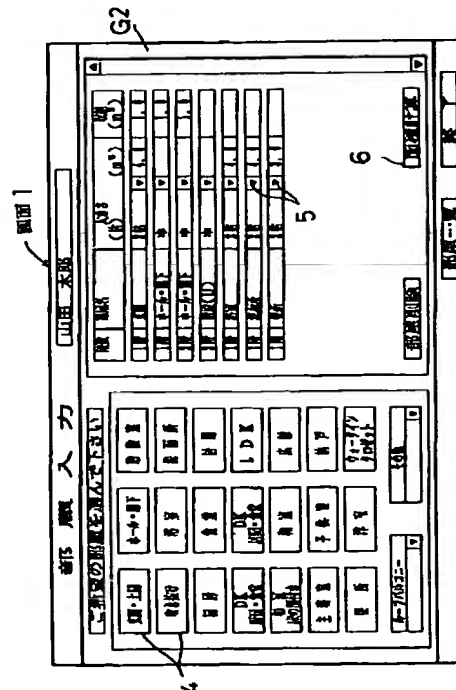
(71) 出願人 000198787
積水ハウス株式会社
大阪府大阪市北区大淀中1丁目1番88号
(72) 発明者 江藤 賢吾
大阪府大阪市北区大淀中1丁目1番88号
積水ハウス株式会社内
(74) 代理人 弁理士 渡辺 三彦

(54) 【発明の名称】 建築費用見積方法

(57) 【要約】

【課題】 住宅等の建物の建築費用の見積を短時間で容易に行うことのできる建築費用見積方法を提供すること。

【解決手段】 建築すべき建物の各階毎の部屋の種類と大きさをコンピュータの画面1を用いて入力し、この入力データに基づいて上記コンピュータに予め記憶させた算出手順により概略の建築費用を算出させるようにしたものの。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 建築すべき建物の各階毎の部屋の種類と大きさをコンピュータの画面を用いて入力し、この入力データに基づいて上記コンピュータに予め記憶させた算出手順により概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とする建築費用見積方法。

【請求項2】 外形の異なる複数種の建物タイプを予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの建物タイプを上記画面上に表示させて所望のものを選択し、上記部屋の種類と大きさに建物タイプを加味して概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とする請求項1記載の建築費用見積方法。

【請求項3】 複数種の屋根材を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの屋根材を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、屋根材の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とする請求項1又は2記載の建築費用見積方法。

【請求項4】 各部屋毎に複数種の内装材を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの内装材を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、内装材の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか記載の建築費用見積方法。

【請求項5】 各部屋毎に複数種の備品又は収納部を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの備品又は収納部を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、備品又は収納部の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか記載の建築費用見積方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータを用いて住宅等の建物の建築費用の見積を短時間で容易に行うことのできる建築費用見積方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】住宅の新築時に、建築業者がCAD (Computer Aided Design) システムを用いて設計図面を作成することは従来から行われている。例えば、係るCADシステムによって住宅の各部屋及び内装材等の形状データを作成しておけば、コンピュータの画面上に各部屋の内部を表示することも可能である。また、上記CADシステムを用いれば、作成した設計図面に基づいて、上記住宅の建築費用を算出させることもできる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来は、CADシステム等で作成した設計図面に基づいて建築費用の見積を行うようにしているが、万一、見積額がユーザの予算と合致しない場合、間取りの変更等により、設計図面を再度作成しなければならない煩雑さがあった。一方、ユーザの側にも、住宅の詳細な間取り等を決定し

ない段階で、気軽に建築費用の概略の見積を出してみたい要求もあるため、設計図面に依存しない、より簡易な見積方法の開発が要望されていた。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は前記課題を解決して、住宅等の建物の建築費用の見積を短時間で容易に行うことのできる建築費用見積方法を提供することを目指すとしている。そのため、請求項1に係る建築費用見積方法は、建築すべき建物の各階毎の部屋の種類と大きさをコンピュータの画面を用いて入力し、この入力データに基づいて上記コンピュータに予め記憶させた算出手順により概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とするものである。

【0005】ここでは、コンピュータの画面を用いて、各階毎に部屋の種類、例えば、厨房、食堂、居間、和室、洋室等の別を入力するとともに、その大きさ、例えば、4.5帖、6帖等のサイズを入力することにより、上記コンピュータに部屋の種類と大きさのみに基づいて、概略の建築費用の算出を行わせる。

【0006】請求項2の建築費用見積方法は、請求項1の方法において、外形の異なる複数種の建物タイプを予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの建物タイプを上記画面上に表示させて所望のものを選択し、上記部屋の種類及び大きさに建物タイプを加味して概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とするものである。すなわち、部屋の種類や大きさ、部屋数が同一でも、建物タイプによって建築費用が若干異なる場合があるので、予め、建物タイプを指定するようにしている。

【0007】請求項3の建築費用見積方法は、請求項1又は2の方法において、複数種の屋根材を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの屋根材を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、屋根材（瓦等）の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とするものである。

【0008】請求項4の建築費用見積方法は、請求項1乃至3のいずれかの方法において、各部屋毎に複数種の内装材を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの内装材を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、内装材の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴としている。ここで、上記内装材は、床材、壁紙及び天井の仕上げ材等を含むものである。

【0009】請求項5の建築費用見積方法は、請求項1乃至4のいずれかの方法において、各部屋毎に複数種の備品又は収納部を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの備品又は収納部を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、備品又は収納部の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたことを特徴とするものである。ここで、上記備品は、例え

ば、浴室に設置する浴槽等であり、収納部は、例えば、玄関の下駄箱や和室の押入れ等である。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態における建築費用見積方法を図面を参照しながら説明する。ここでは、建築業者等の係員がユーザの希望を聞きながら、ユーザの建築しようとする建物に関する情報をコンピュータに入力し、建築費用を見積を行う場合につき説明する。図1に示すように、コンピュータ（いわゆる、パーソナルコンピュータ）の起動時には画面1上に初期画面G0が表示され、この初期画面G0上で、①乃至④から所望の項目を選択して、必要なデータの入力、建築費用の見積、見積結果の印刷等の作業を行うものである。

【0011】すなわち、以下で詳述するが、①のご提案見積開始では、ユーザの氏名、住所等のデータを入力し、②の部屋入力では、所望の部屋の種別や大きさ及び各部屋毎の内装材、収納部等を入力し、③ではユーザの希望によりオプションの入力を行い、④では入力データに基づく建築費用の見積、⑤では見積結果の印刷を行うものである。また、⑥乃至⑦では、入力済のデータの保存・削除、保存されているデータの読込、読み込んだデータの修正による再編成等を行う。

【0012】見積の開始時には、①のご提案見積開始を選択するが、これにより、図2に示す入力画面G1が表示される。図示しないキーボード等の入力器具で、ユーザの氏名、住所、建築予定地の有無、建築予定地の住所、敷地面積、入力担当者（係員）の氏名等を入力すると、それらが入力画面G1上のa乃至fの領域に表示される。また、コンピュータの記憶部には、法令で定められた各地域毎の用途、許容される建ぺい率、容積率等が予め記憶されており、建築予定地がある場合には、その住所に基づいて、g乃至iの領域にこれらの用途地域、建ぺい率、容積率の情報が表示される。

【0013】次に、図示しないカーソルでjの建物タイプを指定してマウス等の操作器具を操作すると、図3の建物選択画面G2が表示される。この建物選択画面G2には、複数種の建物タイプが表示され、これらの中から所望の建物タイプをマウス等の操作により選択することができる。なお、図示しないが、いずれかの建物タイプを画面1上に拡大表示したり、各建物タイプの長所や性能等に関する説明文を表示したり、音声による説明を行わせることもできる。

【0014】上記各建物タイプは、建物の概略の外形形状を示すものであって、個々のユーザが建築する実際の建物の外形形状は、敷地面積や部屋数等に応じて、当該ユーザが選択した建物タイプとは若干相違するものである。所望の建物タイプの選択が終了すると、図2の選択画面G1が再び表示され、且つ領域kには選択した建物タイプの名称、例えば、甲シリーズの建物タイプDが表

示される。領域lの屋根形状は、通常、建物タイプの選択時に同時に選択されるが、カーソルで送りマーク2を指定してマウス等の操作を行うことにより、屋根形状を変更することも可能である。

【0015】また、カーソルで領域mの屋根材を指定してマウス等を操作すると、図示しない屋根材一覧画面において複数種の屋根材（屋根瓦等）が表示され、この屋根材一覧画面で所望の屋根材、例えば、瓦Aを選択することができる。屋根材の選択が終了すると、続いて、図2の入力画面G1においてカーソルで部屋入力マーク3を指定してマウス等を操作するか、或いは、図1の初期画面G0で②の部屋入力を選択することにより、図4に示す部屋入力画面G2を表示させ、各階毎の部屋の種類、大きさの入力を開始する。

【0016】部屋入力画面G2では、左側に表示された各部屋毎の部屋選択マーク4をカーソルで指定してマウス操作することにより、各階毎に所望の部屋を選択すると、選択された部屋の名称が部屋入力画面G2の右側の領域に上から順次表示される。ここで、各部屋の大きさ欄で送りマーク5にカーソルを合わせてマウス等を操作すると、各部屋の大きさが順次切り換わり、所望の大きさが表示された段階でマウス等の操作を停止することにより、各部屋の大きさを選択する。なお、ここでは、畳1帖を、通常より若干大きい2.0m²としている。

【0017】部屋入力画面G2の右端の収納欄には、入力された部屋の大きさに対応した標準的な収納スペースの大きさが表示される。この収納スペースの大きさはユーザの希望により変更可能である。また、選択された各種部屋の内、ホール・廊下等は、どの程度の大きさがよいかユーザが決定するのが困難であるから、大きさの欄に単に星印「*」を表示して、コンピュータが標準的な大きさを設定するようにしている。なお、建築業者等の係員がコンピュータ入力を行う場合、予め所定の記入用紙に所望の部屋の種類及び大きさをユーザが記入して置くようにすれば、辞意係員は、記入用紙を参照しながら容易に入力作業を行える利点がある。

【0018】所望の部屋及びその大きさの入力が終了すると、ユーザの希望により床面積等の計算を行うことができる。すなわち、カーソルで図4の面積計算マーク6を指定してマウス操作を行うと、コンピュータが入力された各部屋の大きさに基づいて、各階毎の床面積を計算し、図5に示す面積計算画面G3中領域nに計算結果が表示される。

【0019】また、領域oには法令で定められた建築予定地の用途地域、建ぺい率（50.0%）、容積率（100.0%）と、敷地面積、上記入力データに基づいて計算された推定の建ぺい率（46.5%）、容積率（90.1%）とが表示される。ここでは、建ぺい率、容積率とも許容値以下であることが確認できる。このように、本実施の形態では、建築予算の見積以外に、床面積の計算や簡易な法規チェッ

クも同時に行える。建ぺい率や容積率が許容値を超える場合は、図4の部屋入力画面G2に戻って、部屋数の削減、部屋の大きさの縮小等の操作を行えばよい。

【0020】面積計算画面G3中領域pには、屋根面積が表示される。ここで、1階の屋根面積は、1階と2階との床面積の差等に基づいて所定の計算手順により計算され、2階の屋根面積は2階の床面積及び屋根形状等に基づいて計算される。また、領域qには、各種収納部の面積の各階毎の合計値が表示される。

【0021】部屋の入力及び希望により床面積の計算を終了した後、図6の部屋一覧（内装）画面G4により各部屋毎の内装材の選択を行う。すなわち、部屋一覧（内装）画面G4には、入力済の部屋の名称と大きさが表示され、その右側の床、壁、天井の各欄で送りマーク7にカーソルを合わせてマウス等の操作を行うことにより、各部屋毎に床、壁、天井の内装材を選択する。なお、図示しないが、必要により、各部屋毎に、例えば、床材、壁紙、天井仕上材等を示す画像を複数種表示して、画像に基づく選択を行うことができる。

【0022】次に、図7の部屋一覧（設備）画面G5により、各部屋毎の設備（備品）の選択を行う。この場合も、必要により、複数種の設備を示す画像をコンピュータの画面1上に表示して、所望の設備を選択することができる。例えば、厨房におけるシステムキッチンを選択する場合、図8のように、複数種のシステムキッチンを表す画像が表示され、マウス等の操作により所望のものを選択することができる。なお、図示しないが、所望のシステムキッチンを画面1上に拡大して表示することもできる。

【0023】部屋毎の設備の選択が終了すると、続いて、図9の部屋一覧（附帯）画面G6により、各部屋毎の附帯品（備品）を選択する。例えば、玄関において、安全手摺を選択すると、附帯1の欄にそれが表示される。この場合も、必要により、画面1上に各附帯品を示す画像を表示することができる。

【0024】次に、図10の部屋一覧（収納）画面G7により、各部屋毎の収納部を選択する。例えば、玄関の

収納部としては、下駄箱、クロゼット等の中から所望のものを選択する。各収納部は、その占有面積(㎡)とともに表示され、前記収納スペースの大きさと各収納部の占有面積とを比較することにより、適当な大きさの収納部を選択することができる。この場合も、各収納部の画像を画面1に表示して選択することが可能である。上記収納部の入力により、部屋入力は終了する。

【0025】次に、図1の初期画面G0で㊸のオプションを選択すると、図示しないが、所望のオプションを選択することができる。ここでは、オプションの項目としては、勝手口ドア、デザインサッシ等の備品類の他に、外装工事、外部建具工事等の、建物本体の工事以外の各種附帯工事も含まれる。

【0026】部屋入力及びオプションの入力等が全て終了すると、続いて、初期画面G0で㊹のご提案確認を選択することにより、コンピュータに建築必要の見積を行わせる。見積結果は、図11に示す提案確認画面G8に表示され、ここでは、本体工事等の各項目毎の見積金額が表示される他、合計金額が領域rに、坪単価が領域sに各々表示される。

【0027】その後、初期画面G0で㊺のご提案書印刷を選択することにより、図12に示すような提案書を印刷してユーザに交付することができる。この提案書には、ユーザの氏名、住所の他、ご提案金額、建物タイプ及びその画像、床面積、建ぺい率、容積率等の情報が記載される。

【0028】また、ユーザの希望により、以下の表1に示すような部屋の名称及び大きさを列記した一覧表や、表2に示す見積金額の詳細を示す一覧表を印刷することも可能である。このような一覧表は、ユーザが選択した内装材、設備、附帯品、オプションについても各々印刷することが可能である。更に、図示しないが、各部屋毎の内装材を示す画像や、図13に示すように、ユーザが選択したユニットバスや便器等の設備を示す画像8、9等を印刷することもできる。

【0029】

【表1】

(部 屋 一 覧)

階数	部屋名	大きさ	面積 (m ²)	収納m ²
1階	玄関	2帖	4.0	1.0
1階	ホール・廊下	*	0.0	2.0
2階	ホール・廊下	*	0.0	1.0
1階	階段(U)	*	4.0	
1階	浴室	2帖	4.0	
1階	洗面所	3帖	6.0	
1階	便所	1.5帖	3.0	
1階	LD	8帖	16.0	
2階	主寝室	8帖	16.0	4.0
2階	子供室	6帖	12.0	2.0
1階	厨房	6帖	12.0	
1階	和室	8帖	16.0	2.0
2階	子供室	6帖	12.0	2.0
2階	ルーフバルコニー	8帖	16.0	
	収納面積合計 (m ²)			14.0
	収納面積比率 (%)			12.0

【0030】

* * 【表2】
(ご 提 案 一 覧)

階数	部屋名	ご提案額
	本体工事	16,521,000
1階	玄関	447,000
1階	ホール・廊下	308,000
2階	ホール・廊下	202,000
1階	階段(U)	407,000
1階	浴室	558,000
1階	洗面所	424,000
1階	便所	370,000
1階	LD	615,000
2階	主寝室	531,000
2階	子供室	308,000
1階	厨房	1,011,000
1階	和室	436,000
2階	子供室	450,000
2階	ルーフバルコニー	1,646,000
	オプション合計	206,000
	総計	¥24,440,000

【0031】以上のように、本実施の形態では、設計図 ※を指定するのみで建築費用の見積を行うようにしたの面を作成することなく、単に、部屋の種別とその大きさ※50 で、数分乃至10分程度の短時間で見積作業を終了する

ことができる。その場合、部屋の種別や大きさに加えて、内装材や備品（設備及び附帯品）等の種類も指定するようにしたので、見積金額は、実際の建築費用に極めて近似した値となる。

【0032】なお、建築業者が過去に建築した多数の住宅に関する設計図面等の間取りデータ及び建築費用をコンピュータ内にデータベースとして備えておけば、上記部屋の種類及び大きさ等に関する入力データに基づいて、ユーザが建築しようとする住宅に類似した、建築済の過去の住宅を上記データベースから抽出することにより、建築費用の見積を一層的確に行うことができるようになる。その場合、上記データベースから、ユーザが建築しようとする住宅と類似した住宅を示す設計図面や画像データ等を抽出して、コンピュータの画面1上に表示したり、印刷するようにしてもよい。

【0033】建築業者の各営業所のコンピュータに上記データベースを備えることが困難であれば、各営業所のコンピュータを、上記データベースを備えた本社のホストコンピュータとオンラインで連結することにより、各営業所のコンピュータで上記データベースを利用することができる。

【0034】また、上記の実施の形態では、建築業者の係員がコンピュータへの入力作業を行うものとしたが、建築業者の営業所等でユーザ自身が入力作業を行うようにしてもよい。更に、インターネットその他の通信網を利用して、ユーザが自宅のパーソナルコンピュータを建築業者のホストコンピュータと連結し、自宅のパーソナルコンピュータを用いて上記と同様の操作を行うことにより、建築費用の見積を出せるように構成することも可能である。

【0035】なお、上記の実施の形態では、部屋の種別及び大きさに加えて、内装材、備品等の種類も指定するようにしたが、単に部屋の種別及び大きさのみをコンピュータに入力した段階でも概略の見積を出すことは可能であり、その場合、見積に要する時間は更に短縮されるものである。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の請求項1に係る建築費用見積方法は、建築すべき建物の各階毎の部屋の種類と大きさをコンピュータの画面を用いて入力し、この入力データに基づいて上記コンピュータに予め記憶させた算出手順により概略の建築費用を算出させるようにしたものであるから、設計図面を作成していない段階でも、短時間で容易に見積を出すことができる利点がある。また、上記見積結果に基づいて、適宜、部屋数の増減等を行って、部屋の配置を確定した後に設計図面を作成することができるので、設計図面の修正作業が少なくなり、図面作成の手間も省ける利点がある。

【0037】請求項2の建築費用見積方法は、請求項1の方法において、外形の異なる複数種の建物タイプを予

め上記コンピュータに記憶させておき、これらの建物タイプを上記画面上に表示させて所望のものを選択し、上記部屋の種類及び大きさに建物タイプを加味して概略の建築費用を算出させるようにしたものであり、部屋の種類、大きさや部屋数が同一でも建物タイプに応じて建築費用が異なるような場合でも、ユーザが選択した建物タイプに応じて、建築費用の見積を一層的確に行えるようになる利点がある。

【0038】請求項3の建築費用見積方法は、請求項1又は2の方法において、複数種の屋根材を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの屋根材を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、屋根材の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたものであるから、使用する屋根材を考慮して、概略の建築費用を一層的確に算出できるようになる利点がある。

【0039】請求項4の建築費用見積方法は、請求項1乃至3のいずれかの方法において、各部屋毎に複数種の内装材を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの内装材を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、内装材の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたものであるから、使用する内装材を考慮して、概略の建築費用を一層的確に算出できる利点がある。

【0040】請求項5の建築費用見積方法は、請求項1乃至4のいずれかの方法において、各部屋毎に複数種の備品又は収納部を予め上記コンピュータに記憶させておき、これらの備品又は収納部を上記画面上に表示させて所望のものを選択することにより、備品又は収納部の種類に応じて概略の建築費用を算出させるようにしたものであるから、使用する備品や収納部を考慮して建築費用を一層的確に算出できるようになる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の建築費用見積方法を用いて見積を行う場合にコンピュータの画面上に表示される初期画面を示す説明図。

【図2】上記コンピュータの画面上に表示される入力画面を示す説明図。

【図3】上記コンピュータの画面上に表示される建物選択画面を示す説明図。

【図4】上記コンピュータの画面上に表示される部屋入力画面を示す説明図。

【図5】上記コンピュータの画面上に表示される面積計算画面を示す説明図。

【図6】上記コンピュータの画面上に表示される部屋一覧（内装）画面を示す説明図。

【図7】上記コンピュータの画面上に表示される部屋一覧（設備）画面を示す説明図。

【図8】上記コンピュータの画面上に表示される設備一覧画面を示す説明図。

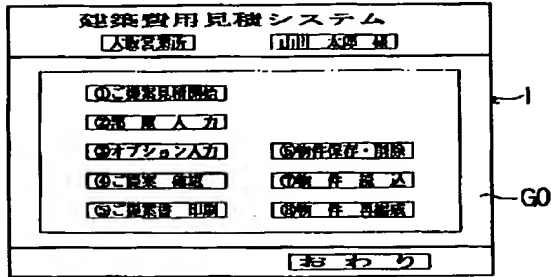
11

【図9】上記コンピュータの画面上に表示される部屋一覧（附帯）画面を示す説明図。

【図10】上記コンピュータの画面上に表示される部屋一覧（収納）画面を示す説明図。

【図11】上記コンピュータの画面上に表示される提案確認画面を示す説明図。

【図1】



12

【図12】上記見積に基づいて印刷される提案書を示す説明図。

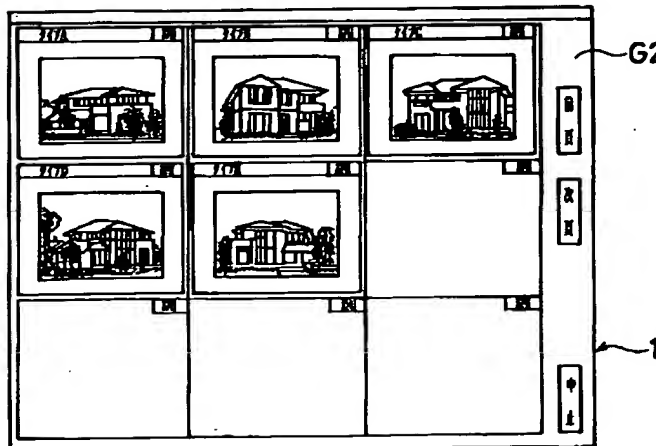
【図13】ユーザが選択した設備を表す画像を示す説明図。

【符号の説明】

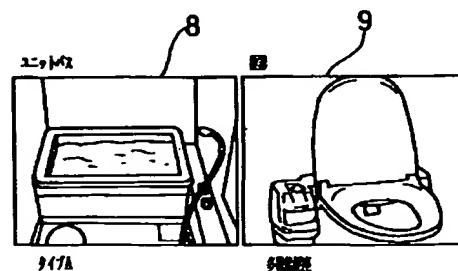
1 画面

【図2】

【図3】



【図13】



【図4】

画面1

部屋入力 山田 太郎

ご希望の部屋を選んで下さい

4

1階	2階	3階
4階	5階	6階
7階	8階	9階
10階	11階	12階
13階	14階	15階
16階	17階	18階
19階	20階	21階
22階	23階	24階
25階	26階	27階
28階	29階	30階

5

6

部屋選択

部屋計算

部屋一覧

終了

G2

【図5】

基本数量

基本数量	変更数量	数量(m ²)	坪	
床面積	1階	76.8	76.8	23.3
	2階	71.8	71.8	21.8
	合計	148.6	148.6	45.0
建築地	用途地域	第1種低層住宅専用	165.0	50.0
	容積率	50.0%	45.5%	
	容積率	100.0%	90.1%	
屋根面積	1階	3.9	3.9	
	2階	111.9	111.9	
	合計	115.8	115.8	
収納面積(m ²)	1階	4.8	4.8	
	2階	18.0	18.0	
	合計	22.8	22.8	
収納面積比率		10.0%	15.3%	

OK

n

o

G3

1

p

q

【図6】

部屋一覧(内装) 山田 太郎

部屋名	床	壁	天井
1階	床	壁	天井
2階	床	壁	天井
3階	床	壁	天井
4階	床	壁	天井
5階	床	壁	天井
6階	床	壁	天井
7階	床	壁	天井
8階	床	壁	天井
9階	床	壁	天井
10階	床	壁	天井
11階	床	壁	天井
12階	床	壁	天井
13階	床	壁	天井
14階	床	壁	天井
15階	床	壁	天井
16階	床	壁	天井
17階	床	壁	天井
18階	床	壁	天井
19階	床	壁	天井
20階	床	壁	天井
21階	床	壁	天井
22階	床	壁	天井
23階	床	壁	天井
24階	床	壁	天井
25階	床	壁	天井
26階	床	壁	天井
27階	床	壁	天井
28階	床	壁	天井
29階	床	壁	天井
30階	床	壁	天井

7

7

G4

1

部屋一覧(設備)

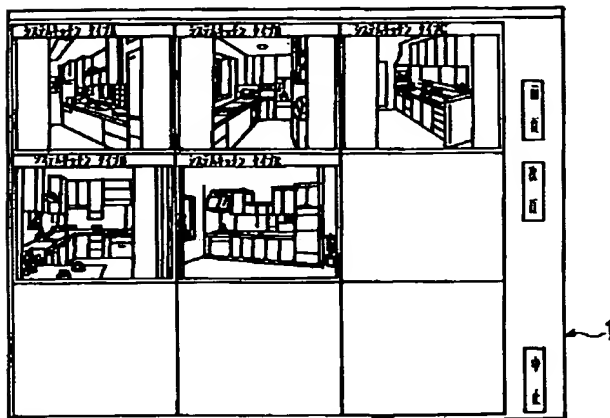
終了

【図7】

部屋一覧 (設備)						山田 太郎
部屋名	人数	設備1	数量	設備2	数量	G5 1
101室	10	エアコン 117A	10.0		0	
101室-B1F	*		0		0	
101室-B2F	*		0		0	
101室(B)	*		0		0	
101室	10	エアコン 117A	10.0		0	
101室	10	エアコン 117B	10.0		0	

部屋一覧 (設備) 終了

【図8】



【図9】

部屋一覧 (附属)						山田 太郎
部屋名	人数	附属1	数量	附属2	数量	G6 1
101室	10	エアコン 117A	10.0		0	
101室-B1F	*		0		0	
101室-B2F	*		0		0	
101室(B)	*		0		0	
101室	10		0		0	
101室	10		0		0	

部屋一覧 (附属) 終了

【図10】

部屋一覧 (収納) 山田 太郎

部屋名	収納1	収納2
101室	収納 101A 0.5m ² 101.1	収納 101B 1.0m ² 101.1
101室-廊下	*	
101室-廊下	*	
101室(U)	*	

オプション 終了

G7

1

【図11】

二 提案 概算 山田 太郎 様

部屋名	予算
101室	¥16,581,000
101室	¥447,000
101室	¥288,000
101室	¥270,000
101室	¥615,000
101室	¥681,000
101室	¥808,000
101室	¥1,011,000
101室	¥438,000
101室	¥282,000
101室	¥447,000
101室	¥558,000
101室	¥434,000
101室	¥158,000
101室	¥1,848,000
オプション合計	¥288,000

G8

1


基本総額 合計 ¥24,448,000

印 算 算 算 ¥588,916

S

【図12】

ご 提 案 書		平成9年 月 日
お名前	山田 太郎 様	
ご住所	大阪市北区	
建築予定地	大阪市北区	
ご提案額	¥ 24,440,000	特許住宅株式会社
(坪単価)	¥578,000	大阪営業所
ご見積額	新築よりお見積	担当 : 宮本 一郎
《建物の概要》		《建築地の概要》
建物タイプ	甲シリーズ タイプD	用途地域 : 第1種低層住居専用
風 根	寄棟 : 瓦葺	敷地面積 : 165㎡ 50.0坪
	1階 2階 合計	規定 予測
床面積	76.8㎡ 71.8㎡ 148.6㎡	建ぺい率 : 50% 46.5%
坪 数	23.3㎡ 21.8㎡ 45.0坪	容積率 : 100% 90.1%



建築希望をとりゆかいな気持ちで

建築イメージのイメージと見えます。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.